

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	<p>【基礎学力】 漢字や文法など、基礎的な力がついていない生徒が多い。</p> <p>【言語活動】 「話すこと」への苦手意識から自分のことばで表現することが難しい生徒が多い。</p>	<p>【基礎学力の定着】 週1回の漢字の小テストの実施。授業の中に文法事項を組み込み、繰り返し指導する。</p> <p>【言語能力の向上】 ○日常の授業の中の意見交換やスピーチなど、経験を重ねていくための時間を確保する。 ○語彙を広げられるよう、新出の語句について使えるように練習していく。</p>	
社会	<p>【関心・意欲・態度】 ○学習に対して意欲が感じられる生徒が昨年よりも増えている。また、ノートなど提出物も、少しずつ改善がみられる。</p> <p>【知識・技能】 ○決まったことを実践する力はある。あとは必要な知識を活用する力が求められている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ○物事を覚えることは不得意ではないが、資料を見て考える力は決して高くない。また、多面的・多角的な見方ができず、1つの答えを探し、わからないと思考が止まってしまう生徒も多い。</p>	<p>【興味関心】 ○授業の中で、時事に関する問題を取り上げることによって、社会事象に関心をもたせ、その問題に主体的に考える力を付けさせる。</p> <p>【知識・技能】 ○教科書・資料集などを多く活用して、資料を読み取る力を伸ばす工夫を行う。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 自分の考えをまとめさせる場面を多くつくる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ○役割を割り振り、課題に対して班で話し合い、他人の意見を聞きながら、最終的に自分の意見をまとめる活動を取り入れる。また、自分の考えを自信をもって発表できる環境づくりを行う。</p>	
数学	<p>【基礎計算力】 ○毎回の授業や定期考査の解答状況から分析すると、基礎計算力が身に付いていない生徒が一定数おり、基礎計算力の確実な定着を更に図る必要がある。</p> <p>【数学的な見方や考え方】 ○授業では、発展的な問題や課題解決に対する意欲が高い生徒が多く、協力して解決することができる。応用問題を解くための基礎計算力の定着を図る指導が必要である。</p>	<p>【基礎計算力の向上】 ○習熟度別少人数授業では、個別指導を行う。 ○演習時間を多くとり、繰り返し計算練習に取り組む授業を展開する。 ○基礎コースでは、既習事項についても途中式などの丁寧な板書を行う。</p> <p>【数学的な見方や考え方の向上】 ○演習時間を十分に確保することや、ワークシートを利用することで、様々な問題に取り組ませ、多様な考え方を身に付けさせる。</p>	
理科	<p>【理解】 ○個々の事象に対する理解が充分ではない生徒がいる。</p> <p>【基礎的事項】 ○正確な知識の定着が不足している生徒がいる。</p> <p>【文章表現能力】 ○文として成り立っていないものや、的外れな内容の文を書く生徒が多い。</p>	<p>【理解】 ○視聴覚教材等の活用や指導方法を工夫し、理解を促す。</p> <p>【基礎的事項】 ○ワークシート等を活用し、基礎的内容の定着を促す。</p> <p>【文章表現能力】 ○文で表現させる指導を随時行う。</p>	

	<p>【科学的思考】</p> <p>○「科学的に考える」姿勢が、まだ充分に身に付いていない。</p>	<p>【科学的思考】</p> <p>○科学的思考を促すような、授業展開・発問を行う。</p>	
音楽	<p>【興味・関心】</p> <p>○音楽活動の美しさの体験を通して、音や音楽への興味・関心を高めていく指導の工夫が必要である。</p> <p>【創意工夫】</p> <p>○多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高めていく指導が必要である。</p> <p>【達成感】</p> <p>○学校行事との関連を図りながら達成感をもたせていく指導の工夫が必要である。</p>	<p>【主体的な活動】</p> <p>○多様な音楽に対する理解を深めさせるとともに、主体的に幅広く鑑賞し音楽的視野を広げられるよう指導を工夫する。</p> <p>【教材選択】</p> <p>○音楽に対して自己のイメージをもたせ、生徒が表現の技能を伸ばし創意工夫して表現できるような教材を精選する。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○自己評価をさせることによって、生徒の授業への取組状況を把握する。</p>	
美術	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>○授業への取組は大変良好であり落ち着いて集中し制作ができるが、自分の作品に対する評価が低いので自分の作品を多方向から鑑賞し、また生徒同士で鑑賞することで自己評価の向上を図る。</p> <p>【発想や構想力】</p> <p>○失敗を恐れず、型破りな表現活動に対しての意欲を高める。</p> <p>【創造的な技能】</p> <p>○根気よく、こつこつ丁寧に作業できる力を継続する。</p>	<p>【制作意欲と達成感の向上】</p> <p>○様々な芸術家の作品を鑑賞させることを通し、自分ならではの表現を探究させ、自己肯定感を高めさせる。</p> <p>○生徒同士の作品鑑賞会を行い、互いの作品の良い面を伝え合う時間を設ける。</p> <p>【発想、構想ちからの向上】</p> <p>○短時間イメージトレーニング課題を定期的に行い描写的な思考をする時間を設ける。</p>	
保健体育	<p>【健康安全に留意した授業】</p> <p>○『授業規律』をしっかりと守り、落ちついて安全に授業に取り組む姿勢を身に付けさせることが必要である。</p> <p>【個に応じた指導】</p> <p>○運動の得意な生徒と苦手な生徒との能力差に対応する指導の工夫が必要である。</p> <p>【自主的課題解決】</p> <p>○自ら課題を理解し、自主的に課題解決に取り組む力を育む指導が必要である。</p>	<p>【健康安全に留意した授業】</p> <p>○服装、挨拶、準備運動のルール確認を徹底し、授業の説明や注意点を落ち着いた態度で聞かせ、理解させる。</p> <p>【段階的な指導の工夫】</p> <p>○授業のねらいを明確にし、見通しをもたせて、段階的に分けて技能練習を繰り返す。また、ICT 機器、映像資料を有効に活用する。</p> <p>【課題発見活動】</p> <p>○ペアやグループ活動で実技を見合ったり、意見を交換し合う場面を設ける。また、授業の振り返りを『個人記録カード』に記入させ、資料を活用しながら点検し、アドバイスをす</p>	

	<p>●技術分野</p> <p>【興味・関心】</p> <p>○各分野において、他教科との関連性をもたせ、関心意欲を高める必要がある。</p> <p>【工夫創造】</p> <p>○基礎的・基本的な知識の定着を図る必要がある。その知識をもとに、新しい発想を生み出そうとする姿勢を育む必要がある。</p> <p>【技能】</p> <p>○ものづくりに必要な技能の習得を製作実習を通して学ぶ必要がある。</p> <p>◆家庭分野</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>授業における聞く姿勢は大変良いが、発問に対する挙手・発言が少ない。よって、生徒の関心・意欲を高め、授業に積極的な姿勢で臨めるような工夫が必要である。</p> <p>【実生活との結び付き】</p> <p>衣生活・住生活において自ら工夫した経験が乏しく、学習内容と実生活の結び付きを感じづらいという課題がある。</p>	<p>る。</p> <p>●技術分野</p> <p>【目標の把握】</p> <p>○題材ごとの評価内容・方法を明確に提示し、授業のねらい・目標を理解させる。実生活との結びつきを意識させ、指導を行う。</p> <p>【教材選択】</p> <p>○生徒の技術的な興味・関心を理解した上で教材を精選する。</p> <p>○実生活に身近な教材を選択し、製作実習において、一つの作品を時間内に終わらせられる教材を選択し、作品を完成させた達成感を味わわせる。</p> <p>【学習の定着】</p> <p>○製作実習時の技能試験、題材終了時に確認テストを実施する。</p> <p>◆家庭分野</p> <p>【発問及び対話的な学びの工夫】</p> <p>意見交換がしやすい生徒同士でのグループ活動や、個人への発問ではなくグループへの発問を多く取り入れることで、生徒の学習意欲を高めたり、発言しやすくしたりする。</p> <p>【自分自身の実生活を題材とする工夫】</p> <p>自分自身の実生活を振り返る、今後の生活の仕方を考えるなどの学習活動を多く取り入れる。また、長期休暇などを利用して、家庭で実践する学習活動を設定する。</p>	
<p>技術 家庭</p>	<p>【定期考査】</p> <p>平均点は高く、生徒が学習内容をよく理解していることがうかがえる。</p> <p>【知識や理解】</p> <p>知識や理解を問う問題への取組はよいが、それに比べると表現の能力を問う問題への回答率や正答率が若干低いので、生徒が自信をもって取り組めるように指導する必要がある。</p> <p>【授業の実態】</p> <p>パワーポイントを使用した授業で、生徒の反応はよい。</p>	<p>【会話に必要な語彙指導】</p> <p>○表現に必要な語彙の習得に課題がある生徒が見られるので、昨年度よりパワーポイントを使用して、単に文字情報だけにならないようにイラストと結び付けて語彙を習得する指導を行っている。また、短時間会話する活動にて、会話で使える表現を指導している。</p> <p>【やり取りのある表現活動】</p> <p>○2学期より短時間の会話形式の活動を取り入れており、授業に対する生徒の【コミュニケーションに対する関心・意欲・態度】は非常に良く、反応も良い。活動にも積極的に取り組める生徒が多く、これからも多様な活動を取り入れ、生徒の基礎学力の定着を図り、</p>	

		<p>発話量を増やす。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○生徒が進んで取り組みたいと思う課題設定を行い、意欲向上を目指した授業展開をする。</p>	
--	--	--	--